

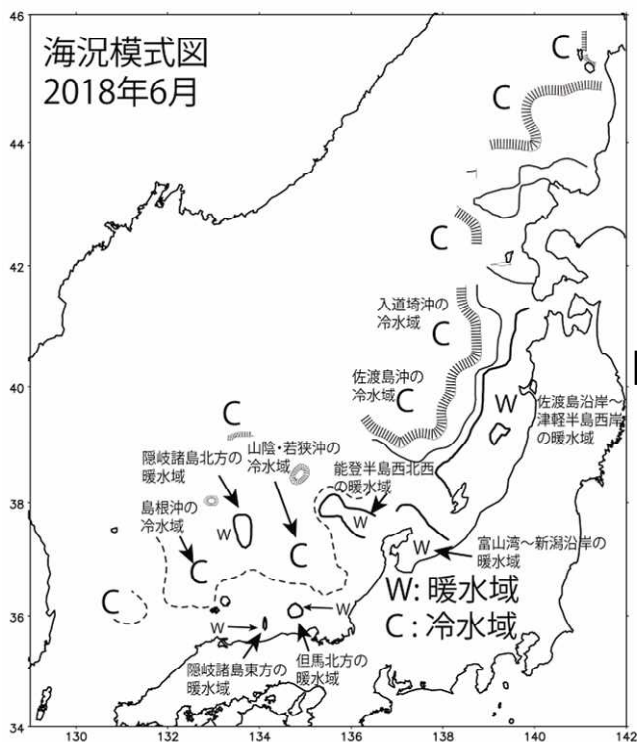


平成30年度 第2回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
日本海区水産研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(平成30年7月中旬～9月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は日本海西部では“平年並み”、北部では“やや高め”で経過する。



2018年7月中旬～9月の海況

- 隠岐諸島北方の暖水域は北東に進み、消滅
- 隠岐諸島東方の暖水域は東進し、消滅
- 但馬北方の暖水域は北東に進み、消滅
- 能登半島西北西の暖水域は、勢力を拡大しつつ北東に進み能登半島北西～佐渡島北方に分布する
- 富山湾～新潟沿岸の暖水域は北東に進み、消滅
- 佐渡島沿岸～津軽半島西岸の暖水域は弱体化し、津軽半島西岸に分布
- 島根沖の冷水域の張り出しは規模は平年並みややや離岸
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは規模、接岸状況とも平年並み
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは規模はやや小さくやや離岸
- 入道埼沖の冷水域の張り出しは規模、接岸状況とも平年並み

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所

担当：業務推進部 加藤、後藤

資源環境部 渡邊、井桁

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

平成30年度 第2回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2018年7月中旬～9月）

- (1) 隠岐諸島北方の暖水域は北東に進み、消滅する。隠岐諸島東方の暖水域は東進し、消滅する。但馬北方の暖水域は北東に進み、消滅する。能登半島西北西の暖水域は、勢力を拡大しつつ北東に進み能登半島北西～佐渡島北方に分布する。富山湾～新潟沿岸の暖水域は北東に進み、消滅する。佐渡島沿岸～津軽半島西岸の暖水域は北上しつつ弱体化し、津軽半島西岸に分布する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並みやや離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模、接岸状況とも平年並みで経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模、接岸状況とも平年並みで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、” やや高め ” で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では” 平年並み ”、北部では” やや高め ” で経過する。

2. 経過（2018年3月～2018年5月）

- (1) 3月に隠岐諸島西方に見られた暖水域は4月に消滅。3月に能登半島西方に見られた暖水域は4月に能登半島西岸を経由し、5月に能登半島北西に分布。3月に能登半島北方に見られた暖水域は弱体化し5月まで停滞。3月に富山湾～新潟沿岸に見られた暖水域は4月まで停滞し、5月に弱体化して富山湾のみに分布。3月に佐渡島東方～津軽半島西岸で見られた暖水域は4月に北上し、津軽半島西岸に停滞。4月に但馬沿岸～若狭湾で暖水域が出現し、5月には北東に移動し能登半島西岸に分布。4月に山形県沿岸に暖水域が出現し、5月には勢力を拡大しつつ北上。5月に隠岐諸島南東に暖水域が出現。
- (2) 島根沖の冷水域は、3月は規模は平年並みで接岸状況はやや離岸、4月は規模、接岸状況とも平年並み、5月は規模はやや大きく接岸状況は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、3月、4月、5月は規模、接岸状況とも平年並み。佐渡島沖の冷水域は、3月、4月はやや小さくやや離岸、5月は規模は平年並みでやや接岸。入道埼沖の冷水域は、3月はやや小さく接岸状況は平年並み、4月はかなり小さくはなはだ離岸、5月はやや小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
3月は隠岐諸島北方～但馬北方で” かなり低め ” ～ ” はなはだ低め ”、山形沿岸で” やや低め ” ～ ” かなり低め ” 以外は概ね” 平年並み ”。4月は島根沿岸、佐渡島北方で” やや低め ” ～ ” かなり低め ”、但馬北方で” かなり低め ” ～ ” はなはだ低め ”、但馬沿岸～若狭湾、富山湾で” かなり高め ” ～ ” はなはだ高め ”、北海道南西沿岸で” やや低め ” ～ ” かなり低め ” 以外は概ね” 平年並み ”。5月は島根沿岸～北方、但馬北方で” かなり低め ” ～ ” はなはだ低め ”、能登半島はるか北方で” やや低め ” ～ ” かなり低め ”、秋田沿岸で” やや高め ” ～ ” かなり高め ” 以外は概ね” 平年並み ”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、3月は日本海北部及び西部ともに” 平年並み ”。

3. 現況（2018年6月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北方、隠岐諸島東方、但馬北方、能登半島西北西、富山湾～新潟沿岸、佐渡島沿岸～津軽半島西岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みでやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、規模、接岸状況ともに平年並み。佐渡島沖の冷水域は、やや小さくかなり接岸。入道埼沖の冷水域は、規模は平年並みでやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、島根沿岸～但馬沿岸で” やや高め ” ～ ” かなり高め ”、北海道積丹半島以北沿岸で” かなり高め ” ～ ” はなはだ高め ” 以外は概ね” 平年並み ”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では” 平年並み ”、北部では” やや高め ”。

(註) 引用符(” ”) で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| ” はなはだ高め (低め) ” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ (低さ) |
| ” かなり高め (低め) ” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ (低さ) |
| ” やや高め (低め) ” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ (低さ) |
| ” 平年並み ” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所